

平成 30 年度 第 2 回中央区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	平成 31 年 1 月 25 日 (金) 午後 1 時～2 時 30 分								
会 場	中央区役所 5 階 対策室								
出席者	中央区自治協議会委員 30 名 (欠席 8 名) 教育委員 佐藤教育委員 渡辺教育委員 事務局 教育総務課長 学校支援課長補佐 地域教育推進課長 市民生活課安心・安全推進室長 万代長嶺小学校教頭 同教諭 (生活指導主任) 中央区教育支援センター所長 他 3 名 傍聴者 0 名 マスコミ 1 名								
議 事	1 開会 2 教育委員挨拶 (佐藤教育委員、渡邊教育委員) 3 報告 平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果について (学校支援課) 4 意見交換 テーマ 子どもたちの安心安全の確保について (司会 中央区教育支援センター所長) 開会/あいさつ <table border="0"><tr><td>佐藤教育委員</td><td>・安心安全をテーマに、意見交換をしましょう。</td></tr><tr><td>渡邊教育委員</td><td>・それぞれの立場の取り組みをお聴かせください。</td></tr></table> 報告 <table border="0"><tr><td>学校支援課</td><td>・平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果について学校支援課が説明する。 ・中央区の小中学生は学力は、新潟市、全国平均を大きく上回っています。 ・また、自己肯定感が高く、先生や家庭で褒められていると推測できます。将来の夢や目標のポイントも高く、地域や社会への関心が高い。</td></tr></table> 意見交換 テーマ「子どもたちの安心安全の確保について」 <table border="0"><tr><td>学校支援課</td><td>・西区の痛ましい事件を受け、今後の取り組みとして 4 つの柱を建てました。1 点目は登下校の見守り、2 点目は子どもへの安全指導、さらに不審者情報の共有、通学路等の緊急総点検。これらを教育委員会と市民生活課が連携して取り組んできました。 ・緊急総点検は日本国中の全小学校で行いましたが、当該市であるので先んじて進めました。まず、危険個所の洗い出し、それをマップにして、保護者と児童で点</td></tr></table>	佐藤教育委員	・安心安全をテーマに、意見交換をしましょう。	渡邊教育委員	・それぞれの立場の取り組みをお聴かせください。	学校支援課	・平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果について学校支援課が説明する。 ・中央区の小中学生は学力は、新潟市、全国平均を大きく上回っています。 ・また、自己肯定感が高く、先生や家庭で褒められていると推測できます。将来の夢や目標のポイントも高く、地域や社会への関心が高い。	学校支援課	・西区の痛ましい事件を受け、今後の取り組みとして 4 つの柱を建てました。1 点目は登下校の見守り、2 点目は子どもへの安全指導、さらに不審者情報の共有、通学路等の緊急総点検。これらを教育委員会と市民生活課が連携して取り組んできました。 ・緊急総点検は日本国中の全小学校で行いましたが、当該市であるので先んじて進めました。まず、危険個所の洗い出し、それをマップにして、保護者と児童で点
佐藤教育委員	・安心安全をテーマに、意見交換をしましょう。								
渡邊教育委員	・それぞれの立場の取り組みをお聴かせください。								
学校支援課	・平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果について学校支援課が説明する。 ・中央区の小中学生は学力は、新潟市、全国平均を大きく上回っています。 ・また、自己肯定感が高く、先生や家庭で褒められていると推測できます。将来の夢や目標のポイントも高く、地域や社会への関心が高い。								
学校支援課	・西区の痛ましい事件を受け、今後の取り組みとして 4 つの柱を建てました。1 点目は登下校の見守り、2 点目は子どもへの安全指導、さらに不審者情報の共有、通学路等の緊急総点検。これらを教育委員会と市民生活課が連携して取り組んできました。 ・緊急総点検は日本国中の全小学校で行いましたが、当該市であるので先んじて進めました。まず、危険個所の洗い出し、それをマップにして、保護者と児童で点								

検、そして点検個所の現地確認を行いました。

・子ども見守り隊は平成 16 年度に発足し、27 年度からは保険対象にしました。ボランティアに頼っていますが、昨年度末で新潟市全体で 2,500 人くらいが、現在 3,072 名と 500 人増加しています。ただ、高齢化しつつあります。

・スクールガードリーダーは 18 年度に発足し、八つの警察署内に警察官 OB を 1 名ずつ配置し、月 2 回程度の活動を 6 回に増やしました。

・不審者情報の共有も見直しました。(詳細は資料)

市民生活課

・青パトの巡回による危険箇所を重点的に行っていきたい。また、子どもの安全教室の拡充を図りたい。

・防犯カメラの設置の補助については、今までは地域活動補助金のなかで対象にしてきましたが、来年度は新たな補助制度をつかって使いやすい制度にしたい。議会に諮ったあと、またお知らせしたい。

司会(支援 C)

・通学路は、法令に基づき学校が保護者や地域と協議して、安全確保と教育的環境維持のために指定しています。通学路は、警察、自治体が信号機や道路の整備をし、国からの財政的支援があります。

万代長嶺小

・宮浦中学校区(宮浦中、紫竹山小、南万代小、万代長嶺小)では、年 3 回、健全育成会議が開かれており、また小中学校合同教職員研修会もあり、教職員同士、学校間で、地域、行政、警察等と情報交換をしています。

・安全マップは昨年 3 月に作成し配布した。保護者、地域の情報を反映させ、こども 110 番の家も掲載しています。

・今年は、避難訓練の一つを不審者対策にかえました。また、登下校は子ども見守り隊の方が声を掛けてくださって感謝しています。

自治協委員

・見守り隊の位置づけは？

学校支援課

コミュニティ協議会からも見守り隊に参加、協力してもらえるとありがたいです。

自治協委員

子どもたちが自主的にガードするということや、どこが危険なのか知ること大事。

自治協委員

・見守り隊の連絡体系は？

※地域と学校部会
座長

・コミュニティ協議会、PTA がどういう役割を担えばいいのか。自主性に任せるのか、働きかけをするのか。

・PTA の位置づけは？

学校支援課

・実は子ども見守り隊というのがいっぱいあって、教育委員会として、学校を通して地域や PTA の方に話して、所属した段階に関してのみの話で、コミュニティ協議

会については、一切関知出来ていない。教育委員会として何をしてください、ではなく、学校の実情に合わせて運営していくことになっています。

自治協委員

うちは、セーフティスタッフとまだ言っていますが、コミ協で募集して、名簿を教頭先生に渡して、学校から依頼してもらっています。

学校支援課

教育委員会からは学校に依頼しますが、学校からコミ協に依頼したり、コミ協が独自でやったりしていて、教育委員会は直接コミ協とやり取りはしていません。

自治協委員

連絡体制やコミ協での位置づけがよくわからない。うちは、ジャンパー等の資金援助だけだが、やはり応援することになる。そこは、自治会でも違う。

自治協委員

うちでは、不審者情報の緊急連絡網を作りました。

司会(支援C)

期待する役割、働きかけについてはどうでしょうか。

学校支援課

教育委員会から、コミ協やPTAに直接依頼するのは難しいところがあります。

自治協委員

※地域と学校部会
座長

現地調査やマップをどう活用していくのか、くらいまではロードマップ(指標)があるとよいと思います。一緒になって学校や地域の問題にかかわっていける具体的な仕組みづくりが必要だと思います。

自治協委員

マップの活用を学校に指導してもらいたい。

自治協委員

現状は、各学校に任せるということなのでしょうか。18の学校があり、みんな違うということでもいいのですか。教育委員会がしっかりまとめていく必要があると思います。

学校支援課

これをやりなさいというところまでは、学校に言っていますが、その後はまちまちではあります。

佐藤教育委員

今日は、一つの例として万代長嶺小学校を紹介させていただきました。各校の取り組みを比較して、足りないところがあればぜひ参考にさせていただきたいと思います。いろいろな意見交換をして、中央区のレベルアップができると思います。どんなやり方がよいのか、持ち帰って教育委員会で検討させてください。

自治協委員

カメラ補助の件ですが、1件30万が上限で、あとは自治会でやりなさい。これでは、自治会の持ち出しや負担が多くて大変です。

市民生活課

防犯カメラは地域活動補助金の枠で補助をしていますので、使い勝手が悪いと認

識しています。来年度は、いま予算要求をしている最中で、使いやすい制度にした
いと調整中です。また、高い安いがあり、平均すると1機あたり26万円の整備費用
でした。早めに来年度のご案内ができればしていきたいと考えています。

自治協委員

どこが主でやるのか。市が提案しながら、主は地域ということですか。

市民生活課

いちばん大切なものは、見守り活動だと思っています。その補完のために防犯カメ
ラを整備したいというところについては、出来る限り支援したいと考えています。

自治協委員

防犯カメラの経費負担は大変なのです。維持管理も必要。(見守りの)ボランティ
ア、高齢者の痛みをイメージしてください。本来は県警が設置すべきなのです。ど
こかが統括してもらいたい。

市民生活課

皆さんのご負担が大きいことは十分に勉強させていただきました。これからも支援し
ていけるよう努めます。

報告(地域と学校部会)

自治協委員

※地域と学校部会

座長

当部会で取り組んできた「子どもが真ん中！地域と学校でつくる学びの未来～提案
型協働事業」について

1 つ目は、地域とともにある学校を実現するための環境づくり 地域の状況に応じた
自主的、自律的な学校運営が行える予算や制度が必要ではないか、ということ。予
算執行の制約や規制の改善をお願いしたい。

2つ目は地域教育コーディネーターの役割や立場 実際、各校で違いがあり、たと
えば社会教育施設との連携まで求められていなかったり、事務補助がメインだっ
たりしているコーディネーターもいます。役割・立場を明確にしてほしい。

教育総務課長

予算についてやむを得ない部分もあるが、その都度相談しながらやっていきたい。

地域教育推進
課

地域教育コーディネーターは、学・社・民の融合による教育の中核。

それぞれの学校にあわせた業務をしてもらっています。統一はできませんが、疑問
等は支援センターや当課の指導主事にご相談ください。

佐藤教育委員

普段は一市民として、今日のご意見は理解できます。いろいろな取り組みから対立
も生まれますが、前進にもつなげられると思います。

閉会

自治協委員

※地域と学校部会

座長

白熱するやりとりもありましたが、真剣に考えていればこそ、だと思えます。今日
の意見交換を生かして行ってほしいと思えます。

